

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	11	1	基本事務事業名	人権啓発地方委託事業	事務事業名	人権啓発活動事務	公的関与	5	シート作成日	平成23年6月14日			
	部局名	市民部		課名	人権課	主務課長名	岡田 清	シート作成者名	三橋徹也					
	事業区分	◎ 1 ソフト事業		○ 3 経常的事務事業		○ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		○ 2 ハード事業		○ 4 施設の維持管理		○ 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立			○ 1 該当		平成	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(2)あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進			◎ 2 非該当		根拠法令等	人権啓発活動再委託要綱				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市民											
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会の実現。										
			今年度	各種講演会の開催・人権擁護委員とタイアップし、各行事において啓発物品配布等を行い、市民等の人権意識高揚を図ります。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 人権問題講演会を市内4中学校で開催します。(対象 市民)													
	② 啓発物品を購入して、各種行事にて啓発物品を配布しながら、人権意識の高揚を図ります。企業職域での研修会開催推進を図ります。													
	③ 中学生によるプラカード隊・小学生による鼓笛隊を先頭に、人権擁護委員・市職員・教員が啓発物品を配布しながら、人権啓発パレードを実施します。													
	④ 市職員人権問題研修会を開催します。													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		最終目標		
	人権問題講演会		市内中学校にて開催。 開催数・参加人数		回・人	目標	4回・1,300人		4回・1,400人		4回・1,500人		4回・1,500人	
						実績	3回・711人		4回・1,368人					
	市職員人権問題研 修会		開催数・参加人数		回・人	目標	4回・150人		4回・150人		4回・150人		4回・200人	
						実績	3回・66人		4回・126人					
	人権パレード		年1回開催		回	目標	1		1		1		1	
実績						1		1						
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	人権対策費
	直接事業費			平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考	
		国庫支出金				0 千円			千円			千円		
		県支出金				590 千円			1,133 千円			1,356 千円		
		地方債				0 千円			千円			千円		
		その他特定財源				0 千円			千円			千円		
		一般財源				1,689 千円			211 千円			2,828 千円		
		計(A)				2,279 千円			1,344 千円			4,184 千円		
	人件費(B)	正職員工数・経費		1.300 人	7,954 千円		1.300 人	8,168 千円		1.800 人	11,062 千円			
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)				10,233 千円			9,512 千円			15,246 千円				

チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価						
		少ない	大きい		少ない	大きい					
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	人権とは、「人が人間らしく生きていくために社会により認められている権利」であり、誰からも犯されることのない基本的権利です。日本国憲法でも国民の基本的人権を保障されています。この事業は社会にとって必要不可欠な事業です。継続して、推進することが大切です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい					
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある					
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない					
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	平成20年度から、人権問題講演会を1箇所増やし、市内4中学校で実施しています。人権に関する児童生徒の中から最優秀賞ほかを数年続けて受賞しています。また、市民の関心度が上がる等講演会・啓発活動「人権の花運動」等を実施することで成果が上がっています。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる					
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる					
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない					
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる					
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		講演会の参加数については、会場を1箇所増やしたことで増えましたが、まだ十分とはいえません。市職員の少ないのが気になりました。今後、市職員の参加要請を徹底すると共に、講師の選択等にお一層努力したいと思います。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている						
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/> あまり上がっていない			<input type="radio"/> あまり上がっていない						
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している			<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している						
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 十分達成している			<input type="radio"/> 十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	各行事実施に当たり、効果的に出来ました。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当					
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない					
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない					
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	講演会等につき、より多くの市民・市職員に参加を促し、人権意識の高揚と公務員としての職責を図りたいと思います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	人権問題講演会については、市民に対し、ACN文字放送等で周知するとともに、市職員に対し多くの参加を要請します。講演内容について十分検討し、最良の講師を選びたいと思います。「人権の花運動」については、毎年開催し、小学校児童の豊かな人権感覚を身につけさせたいと思います。					社会教育課の実施する人権教育啓発活動と連携を図りながら、効果的な事業を実施してください。				
委員会指摘事項											

PLAN	No.	11	—	2	基本事務事業名	人権擁護委員活動事業	事務事業名	人権擁護委員活動事務	公的関与	5	シート作成日	平成23年6月14日	
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	岡田 清		シート作成者名	三橋徹也		
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業 <input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 3 経常的業務事業 <input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援 <input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営 <input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 3 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり		実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立		<input type="radio"/> 1 該当 <input checked="" type="radio"/> 2 非該当		平成	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(1)人権教育・啓発推進体制の整備				根拠法令等	人権啓発活動再委託要綱				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民										
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会の実現。									
			今年度	人権相談所を開設し、市民等の人権を守ります。人権の花運動・人権パレード・街頭啓発等を実施し、市民等の人権意識の高揚を図ります。									
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで) ① 特設人権相談(毎月、市内2会場で2回)開催します。 ② 人権なかよしひろば 人権擁護委員が主催者となり人権課・社会福祉協議会・徳島地方事務局との共催により、地域の子どもたちを中心に、遊びや交流をととして人権学習の場とします。 ③ 街頭啓発を量販店等で実施。啓発物品を配布しながら、人権啓発を行います。 ④ 広報車にて、市内を啓発広報。ACNの文字放送・広報紙等に掲載し、市民の人権意識の高揚を図ります。 ⑤ 「人権の花」運動 小学校へ花を贈り、花を栽培することを通し、命の大切さや相手への思いやりを育ませ、豊かな人権感覚を身につかせるため開催します。											
数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標					
	人権相談	毎月市内2箇所で開催	回	目標	24	24	24	24					
				実績	24	37							
	人権なかよしひろば	年1回開催	回	目標		1	1	1					
				実績		1							
	「人権の花」運動	開催数・花贈呈数	回・鉢	目標	1回・70鉢	1回・120鉢	1回・120鉢	1回・120鉢					
				実績	1回・70鉢	1回・120鉢							
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	人権対策費
			平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考	
	直接事業費	国庫支出金			0 千円			0 千円					
		県支出金			0 千円			0 千円					
		地方債			0 千円			0 千円					
		その他特定財源			0 千円			0 千円					
		一般財源			279 千円			274 千円					874 千円
		計(A)			279 千円			274 千円					874 千円
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.600 人		3,671 千円	0.600 人		3,770 千円	0.600 人				3,687 千円
		臨時・嘱託職種											
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人		0 千円	0.000 人		0 千円	0.000 人				0 千円	
全体事業費(A+B)			3,950 千円			4,044 千円						4,561 千円	

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	人権擁護委員は、法律で設置が義務づけられており、市民の基本的人権が侵犯されることがないように監視し、また、侵犯された場合には、救済のための支援等に努め、人権思想の普及高揚に努めています。人権擁護委員に全力で支援する必要性があります。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。			<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。			<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	人権擁護委員会活動を支援することにより、市民の基本的人権を擁護し、人権意識の高揚を図り、安心した住みよい町づくりが実現します。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。			<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	人権擁護委員が特設人権相談を開設していると共に、ボランティアで、学校・保育所関係・社会福祉施設等へ訪問し、積極的に人権意識の普及高揚のため活動をこなしており達成できています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている					
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。			<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない					
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。			<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している					
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。			<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している					
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	阿波市の人権擁護委員は、9名と少人数で、阿波市全体を対象に効率的に活躍しています。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。			<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	平成21年1月13日徳島法務局管内の徳島地区協議会に加盟し、広く他地域の活動を見聞したこと、また活動拠点の事務所的場所(吉野支所北)を提供した事もあり、自主的に、阿波市全体の人権意識の普及高揚のため、全力で活動しています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	事務所を提供した事もあり、自主的に思考錯誤をし、より一層の活動をしています。人権啓発活動のネットワークを図ることからも、人権擁護委員活動と連携強化し、今まで以上の支援が必要と思います。					人権擁護委員活動は、活発に行われています。今後も、継続して、取り組みを進めてください。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	3	基本事務事業名	公会堂・老人ルーム管理運営事業	事務事業名	公会堂・老人ルーム管理運営事業	公的関与	5	シート作成日	平成23年5月27日			
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	岡田清		シート作成者名	三橋徹也				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立				<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(1)人権教育・啓発推進体制の整備				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		公会堂・老人ルーム条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	各行事・集会のため、会場を提供し交流することで人権意識の高揚を図ります。また、台風等災害時に避難場所として提供し市民の生命を守ります。										
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
① 各施設を訪問・点検するとともに、管理人に修繕箇所等の報告依頼し、修繕順位を設定します。															
② 破損箇所の早期発見。															
③															
④															
⑤															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		最終目標			
	使用状況		使用回数・人数		回・名	目標 250回・1500名		300回・2000名		300回・2000名		300回・2000名			
						実績 156回・1191名		168回・1263名							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会計		一般会計			款	3 民生費		項	1 社会福祉費		目	7 老人ルーム・公会堂管理費	
	直接事業費			平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考								
		国庫支出金		千円		千円									
		県支出金		千円		千円									
		地方債		千円		千円									
		その他特定財源		千円		千円									
		一般財源		3,043 千円		2,910 千円		3,289 千円							
		計(A)		3,043 千円		2,910 千円		3,289 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.100 人	628 千円	0.100 人	613 千円	0.100 人	604 千円						
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		3,671 千円		3,523 千円		3,893 千円									

チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価						
		○ 少ない	● 大きい		○ 少ない	● 大きい					
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい	地域の会合の場と人が交流する場所を提供することで人権意識の高揚を図ることができるとともに、台風等災害の際、避難場所を市民に提供することで、生命を守ることができます。	○ 少ない	● 大きい					
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある		○ ない	● ある					
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない					
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない		○ いる	● いない					
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	施設を修繕したことで、今まで使用していなかった公会堂を近隣の市民が清掃し、今後いろいろの会合に使用すると連絡がありました。今後他の利用の少ない施設についても計画的に修繕することで利用度が上がります。	○ いえない	● いえる					
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる					
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない		○ する	● しない					
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる		○ できない	● できる					
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		施設が多いため、十分とはいえないが、年次的に修繕し市民の交流と地域の会合の場を提供します。	○ 目標に比べて劣っている						
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない						
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している			● 概ね達成している						
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	予算にあわせ年次的に実施しています。ただ今後の公共施設の管理運営について、財政・市民の行政参加の視点から自主管理運営を検討すべきです。	○ 高い	● 適当					
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない		○ できる	● できない					
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	● ある	○ ない		● ある	○ ない					
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない					
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A
	今後の方向性	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	○ 現状維持	● 方法改善	○ 民間委託等	
		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
	当面の課題	施設が多いことと、老朽化しこれまでも十分な補修ができていないためより一層補修力所が酷くなっている施設も見受けられます。全館で安全に使用出来るよう破損箇所の修繕が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	安全に使用できるよう年次的に、修繕していきます。破損箇所を早めに発見し修繕代を少なくします。使用度を上げるため、地域活性化事業等を利用し、講座等開設し、市民の利用できる機会を確保します。					設置目的である地域集会所としての機能は、果たしていますが、自主管理に向け、検討の必要があります。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	4	基本事務事業名	隣保館運営事業	事務事業名	吉野中央・一条ふれあいセンター基本事業	公的関与	5	シート作成日	平成23年6月13日			
	部局名	市民部			課名	人権課			主務課長名	岡田 清		シート作成者名	七條 和子		
	事業区分	○ 1 ソフト事業		◎ 3 経常的業務事業		○ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		○ 2 ハード事業		○ 4 施設の維持管理		○ 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 人権尊重社会の確立				◎ 1 該当		平成	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(3) 隣保館事業の充実				○ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民(周辺地域住民)												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして各種相談事業や人権問題の解決のための各種事業を総合的に行うことを目的としています。											
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
① 相談事業(職業相談・健康相談・生活相談・人権相談・教育相談)															
② 地域交流事業(子供会活動・俳句同好会・将棋教室・書道教室・日本舞踊・パッチワーク教室・墨絵教室・カラオケ・料理教室・国際交流・健康器具活用)															
③ 啓発・広報活動(館だより発行・講演会外)															
④ 地域福祉事業(集団検診・食生活改善事業・生活環境改善事業・ボランティア活動・独居老人訪問)															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標					
	相談事業	年間相談延べ人数		人	目標		100	200	200						
					実績		228	257							
	地域交流事業	年間相談延べ人数		人	目標		5000	5000	5500						
					実績		7828	5773							
	啓発・広報活動事業	年間実施回数		回	目標		12	12	12						
					実績		12	12							
予算費目	会 計	一般会計			款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	隣保館管理費		
DO	直接事業費	平成 21 年度決算		平成 22 年度決算		平成 23 年度予算		備考							
		国庫支出金	1,228 千円		1,707 千円		8,537 千円								
		県支出金	614 千円		854 千円		4,286 千円								
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円								
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円								
		一般財源	614 千円		854 千円		3,555 千円								
	計(A)		2,456 千円		3,415 千円		16,378 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.100 人	6,912 千円	0.600 人	3,675 千円	0.600 人	3,627 千円							
		臨時・嘱託職種	隣保館館長		隣保館館長		隣保館館長								
		臨時・嘱託工数・経費	1.600 人	2,880 千円	2.300 人	4,140 千円	2.300 人	4,140 千円							
全体事業費(A+B)		12,248 千円		11,230 千円		24,145 千円									

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価		
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	各種相談所業に取り組んでいます。定期相談として健康・職業相談を実施しています。高齢者の健康管理や厳しい経済情勢の中、失業者には必要不可欠となっております。地域交流の場として多くの利用者が交流の輪を広げています。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	地域住民にとって交流の拠点として、気軽に利用できる開かれたコミュニティ施設として有効です。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない		<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	健康相談は健康推進課・介護保険課とも連携し、毎回相談者が増え健康管理意識が高まっています。また、職業相談も毎回多くの相談者が来館します。各種講座等への地域住民の参加を促すことにより、各種事業が達成できています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない	<input type="radio"/> あまり上がっていない					
3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している	<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している					
4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している	<input type="radio"/> 十分達成している					
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	住民相互の理解と交流が深まることによって、住民一人一人の人権意識が高まり他人の人権を尊重する意識が育まれています。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない	
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 3	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	周辺地域を含めた地域づくりや住民の自主活動の支援や育成を図り、住民各層の連帯と交流の場として位置づけることが大切です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	日常の具体的な行事についても、参加と協力を得ながら効果的に実施します。					地域住民のニーズにあった事業に、継続して取り組んでください。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	11	5	基本事務事業名	隣保館運営事業	事務事業名	柿原ふれあい会館基本事業	公的関与	5	シート作成日	平成23年6月8日				
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	岡田清		シート作成者名	近藤侑香				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(3)隣保館事業の充実				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民(周辺地域住民)												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	地域社会に密着し各種相談事業をはじめ地域交流事業を総合的に行うとともに、人権問題に対する活動、解決することを目的とする。											
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
① 相談事業(健康、生活、人権、教育、職業相談)															
② 地域交流事業(生花教室、書道教室、硬筆教室、館まつり、世代間交流)															
③ 啓発、広報事業(館だより発行、人権啓発ビデオ、人権パネル展)															
④ 地域福祉事業(独居高齢者訪問)															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		最終目標			
	相談事業	相談実施のべ人数		人	目標	60		70		70					
					実績	81		66							
	地域交流事業	年間参加のべ人数		人	目標	300		300		300					
					実績	318		325							
	啓発、広報	実施のべ回数		回	目標	15		15		15					
					実績	13		13							
	予算費目	会 計	一般会計			款	3 民生費		項	1 社会福祉費		目	5 隣保館管理費		
DO	直接事業費			平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算		備考							
		国庫支出金		1,941 千円		877 千円		3,379 千円							
		県支出金		970 千円		439 千円		1,690 千円							
		地方債		千円		千円		千円							
		その他特定財源		千円		千円		千円							
		一般財源		856 千円		439 千円		201 千円							
	計(A)		3,767 千円		1,755 千円		5,270 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.500 人	3,142 千円		0.800 人	4,901 千円		0.800 人	4,836 千円				
		臨時・嘱託職種		隣保館館長		隣保館館長		隣保館館長							
		臨時・嘱託工数・経費		0.600 人	1,080 千円		1.000 人	1,800 千円		1.000 人	1,800 千円				
全体事業費(A+B)		7,989 千円		8,456 千円		11,906 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	相談事業をはじめ、啓発、広報や文化活動を実施しており、地域住民の活動拠点としての役割を果たす必要な場となっています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	類似した事業はあるが、地域住民にとって、身近な施設であり相談、交流事業に利用しやすくなっているため、有効と考えられます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	相談事業に至っては、あまり相談はなかったが、住民の要望で専門相談員(弁護士)の派遣での対処ができました。また、館まつりや地域交流事業等に関しては、多数の参加、協力をしていただき地域に根付いた事業ができました。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	小学校、ぱあわーあつぷ、柿原ふれあいクラブとの連携で、効率的に運営しています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
ACTION	評価点	一次評価					二次評価				
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	3	2	4	A	4	3	3	3	A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
当面の課題	隣保館事業における相談事業、地域交流事業の充実を図り、相談者、利用者のニーズに応えるべき相談機関となる事です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	館の事業を通して地域をまわり、ニーズの把握や相談に応じていきます。特に独居老人世帯の訪問活動で、安否確認や相談に応じていきたいと思ひます。					相談事業や地域交流事業等、地域住民のニーズにあった事業が実施されていますが、より多くの参加が得られるよう工夫をしてください。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	6	基本事務事業名	隣保館運営事業	事務事業名	市場文化会館基本事業	公的関与	5	シート作成日	平成23年6月15日		
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	岡田清		シート作成者名	上田尚子			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり		実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立		<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(3)隣保館事業の充実		<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民(周辺地域住民)											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	人権尊重社会を確率するために、周辺地域とのふれあい交流と相談事業に取り組み、人権問題が速やかに解決される役目を隣保館は積極的に担い、地域の福祉向上と人権のまちづくりを推進します。										
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
① 各種相談事業(職業相談月1回、人権相談、生活相談等)を随時行います。														
② 啓発、広報事業(パネル展、啓発講演、館だよりの月1回発行)を行います。														
③ 地域交流事業(生花、硬筆書道、ビジョンヨガ、カラオケ教室、人権問題学習会、館まつり)の開催をします。														
④														
⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		最終目標		
	各種相談事業、来館者数	年間相談者、来館者数		人	目標	7000		7000		7000		7000		
					実績	4860		4551						
	地域交流事業	年間参加延べ人数		人	目標	1500		1600		1600		1600		
					実績	1554		1723						
	広報啓発事業	年間実施回数		回	目標	12		12		12		12		
			実績	12		12								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	隣保館管理費
	直接事業費			平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国庫支出金		1,759 千円	1,406 千円	3,489 千円								
		県支出金		880 千円	703 千円	1,794 千円								
		地方債		千円	千円	千円								
		その他特定財源		千円	千円	千円								
		一般財源		879 千円	704 千円	0 千円								
		計(A)		3,518 千円	2,813 千円	5,283 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.500 人	3,142 千円	0.700 人	4,288 千円	0.700 人	4,231 千円					
		臨時・嘱託職種		隣保館館長		隣保館館長		隣保館館長						
臨時・嘱託工数・経費		0.800 人	1,440 千円	0.800 人	1,440 千円	0.800 人	1,440 千円							
全体事業費(A+B)		8,100 千円		8,541 千円		10,954 千円								

チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価						
		○ 少ない	● 大きい		○ 少ない	● 大きい					
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい	隣保館の主軸的事业は、相談事業なので、相談がある、なしに関わらず地域住民の相談窓口としての役割を担っています。	○ 少ない	● 大きい					
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある		○ ない	● ある					
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない					
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない		○ いる	● いない					
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	事業内容のマンネリ化はあります。しかし、地域交流事業をとおして地域住民のさまざまな交流に役立っています。	○ いえない	● いえる					
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	● いえない	○ いえる		○ いえない	● いえる					
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない		● する	○ しない					
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる		○ できない	● できる					
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている		相談による来館者はあまりなかったが、館まつりでの来館者が多く訪れ概ね達成しています。	○ 目標に比べて劣っている						
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない						
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している			● 概ね達成している						
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している			○ 十分達成している						
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	現在の職員配置人数では、現在行っている事業内容が妥当かと思えます。	○ 高い	● 適当					
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない		○ できる	● できない					
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	● ある	○ ない		● ある	○ ない					
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない					
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 3	総合評価 A
	今後の方向性	○ 拡大・充実 ● 現状維持		○ 方法改善	○ 民間委託等	○ 拡大・充実 ● 現状維持		○ 方法改善	○ 民間委託等		
		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			
	当面の課題	隣保館事業である相談事業、地域交流事業の充実を図り利用者のニーズに応えることです。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	専門相談員による講演及び相談事業をしていきます。					地域住民のニーズにあった事業メニューを工夫し、利用者の増加を図ってください。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	11	7	基本事務事業名	隣保館施設管理事務	事務事業名	吉野中央ふれあいセンター管理事務	公的関与	5	シート作成日	平成23年6月13日			
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	岡田 清		シート作成者名	七條 和子			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(3)コミュニティ活動の促進				<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(3)コミュニティ活動の活性化支援				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市民(周辺地域住民)										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	福祉の向上や人権啓発のための住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして、稼働率向上を図ります。									
				今年度	隣保館が目指す「福祉と人権の町づくり」の拠点施設として推進を図ることが大きな役割である。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 施設設備等の維持管理													
	② 施設利用者の充実													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内容 の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 21 年度		平成 22 年度		平成 23 年度		最終目標		
	施設利用		年間のべ利用者		人	目標 9,000		9,000		10,000				
						実績 12,640		16,153						
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3 民生費		項	1 社会福祉費		目	5 隣保館管理費	
	直接事業費			平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国庫支出金		990 千円		1,342 千円		1,150 千円						
		県支出金		495 千円		672 千円		576 千円						
		地方債		0 千円		0 千円		0 千円						
		その他特定財源		0 千円		0 千円		0 千円						
		一般財源		1,107 千円		528 千円		576 千円						
		計(A)		2,592 千円		2,542 千円		2,302 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.200 人	1,257 千円	0.100 人	613 千円	0.500 人	3,022 千円					
		臨時・嘱託職種		隣保館館長		隣保館館長		隣保館館長						
臨時・嘱託工数・経費		0.200 人	360 千円	1.300 人	2,340 千円	1.300 人	2,340 千円							
全体事業費(A+B)		4,209 千円		5,495 千円		7,664 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
必要性	1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	地域住民の様々なコミュニティ活動の拠点として必要性は大きいです。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
有効性	1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	地域住民にとって有効です。施設が教育施設に隣接しており、人権教育においても小学生の利用者が多く、また健康器具などの活用により多くの高齢者や地域住民に有効利用されています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
達成度	1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	各講座等において住民の交流の拠点として位置付け、総合的機能を発揮する開かれた施設として利用者数など各種においても達成しています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
効率性	1.	効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	施設の老朽化はまだ見られず、コスト面の効率性は適当です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	評価点	一次評価					二次評価				
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	3	3	A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
当面の課題	講座生や地域住民だけでなく幅広い層を対象とするものであり、より効果的な館運営のため地域の実情等に即した活動の推進をします。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	地域社会に密着した社会福祉施設として広範な事業を日常的に推進する開かれたコミュニティ施設として活動する。					住民交流の拠点として、効率的な維持管理に努め、地域の実情に即した活動を推進してください。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	11	8	基本事務事業名	隣保館施設管理事務	事務事業名	吉野一条ふれあい会館管理事務	公的関与	5	シート作成日	平成23年6月13日			
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	岡田 清		シート作成者名	七條 和子			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(3)コミュニティ活動の促進				<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(3)コミュニティ活動の活性化支援				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民(周辺地域住民)										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	福祉の向上や人権啓発のための住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして、稼働率向上を図ります。									
				今年度	隣保館が目指す「福祉と人権の町づくり」の拠点施設として推進を図ることが大きな役割である。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 施設設備等の維持管理													
	② 施設利用者の充実													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標				
	施設利用		年間のべ利用者		人	目標	500	500	600					
						実績	846	846						
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	隣保館管理費
	直接事業費			平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国庫支出金		114 千円	206 千円	252 千円								
		県支出金		57 千円	104 千円	125 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源		81 千円	104 千円	39 千円								
	計(A)		252 千円	414 千円	416 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.100 人 628 千円	0.100 人 613 千円	0.100 人 604 千円								
		臨時・嘱託職種		隣保館館長		隣保館館長		隣保館館長						
臨時・嘱託工数・経費		0.200 人 360 千円	0.200 人 360 千円	0.200 人 360 千円										
全体事業費(A+B)		1,240 千円		1,387 千円		1,380 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
必要性	1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	中央ふれあいセンターと隣接しているが、地域住民は利便性からも存続を希望しています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
有効性	1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	地域住民にとって利便性からもみても有効ですが、施設の各所に老朽化が進み利用を妨げている。また財政的には相当な補修費用が伴うと思われます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
達成度	1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている
	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない		<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない
	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している
	4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している
効率性	1.	効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>
	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>
	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>
	4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	評価点	一次評価					二次評価				
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		3	3	2	4	C	3	3	2	4	C
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
当面の課題	施設外装改修工事は行われましたが、その他施設等の老朽化が進んでいるため、維持管理費用は高くなります。このことが、利用面でも悪影響を与えていると思われます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	施設の計画的修繕により、地域住民の利用数を増やす事によって館の必要性を高めていきます。					修繕・改修においては、利用度・地域性を総合的に判断し、統合も視野に入れながら計画的に行う必要があります。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	9	基本事務事業名	隣保館施設管理事務	事務事業名	柿原ふれあい会館管理事務	公的関与	5	シート作成日	平成23年6月8日				
	部局名	市民部			課名	人権課			主務課長名	岡田清		シート作成者名	近藤侑香			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(3)コミュニティ活動の促進				<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(3)コミュニティ活動の活性化支援				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等						
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市民(地域住民)													
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、稼働率の向上を図ります。												
			今年度	隣保館が目指す「福祉と人権の町づくり」の拠点施設としての役割を訴えていきます。												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 施設設備の管理維持															
	② 施設利用者の充実															
	③															
	④															
	⑤															
数値目標 (事業の目的 及び活動内容 の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標						
	施設利用		年間延べ利用者数		人	目標	3000	2000	2000							
						実績	2302	1158								
						目標										
						実績										
						目標										
					実績											
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	隣保館管理費	
	直接事業費		平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考				
		国庫支出金			1,265	千円			1,000	千円		600	千円			
		県支出金			632	千円			499	千円		300	千円			
		地方債				千円				千円			千円			
		その他特定財源				千円				千円			千円			
		一般財源			750	千円			500	千円		798	千円			
	計(A)			2,647	千円			1,999	千円		1,698	千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100	人	628	千円	0.100	人	613	千円	0.100	人	604	千円		
		臨時・嘱託職種	隣保館館長				隣保館館長				隣保館館長					
臨時・嘱託工数・経費		0.200	人	360	千円	1.000	人	1,800	千円	1.000	人	1,800	千円			
全体事業費(A+B)				3,635	千円			4,412	千円			4,102	千円			

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	災害避難場所に指定されているため、近隣住民にとっては必要な施設です。また、地域住民のコミュニティセンターとしての役割を担っています。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	隣接した施設がなく有効性があります。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input checked="" type="radio"/>	する	<input type="radio"/>	しない		<input checked="" type="radio"/>	する	<input type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	館まつり、地域交流事業により来館者はおおむね目標を達成していますが、外の目的での来館者は余りない状態です。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない		<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	大きな老朽化は見られないが、修繕が必要となっています。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		3	3	2	4	C	4	3	2	3	B		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
当面の課題	開かれたコミュニティセンターとして、市民(地域住民)に有効な活用が望まれます。地域住民より健康器具の設置の要望があり、また、図書室の図書の充実をすることにより、児童の来館も望まれます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	隣保館のコミュニティセンターであることを周知します。					地域住民のコミュニティ活動の拠点として有効活用を図ると共に、施設の効率的な維持管理を行ってください。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	10	基本事務事業名	隣保館施設管理事務	事務事業名	市場文化会館管理事務	公的関与	5	シート作成日	平成23年6月15日			
	部局名	市民部			課名	人権課			主務課長名	岡田清			シート作成者名	上田尚子	
	事業区分	○ 1 ソフト事業		○ 3 経常的事務事業		○ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		○ 2 ハード事業		● 4 施設の維持管理		○ 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(3)コミュニティ活動の促進				○ 1 該当		平成	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(3)コミュニティ活動の活性化支援				● 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民(周辺地域住民)											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	福祉の向上、人権啓発の住民交流の拠点となる、開かれたコミュニティセンターとして、稼働率の向上を図ります。										
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
① 施設整備等の維持管理															
② 施設利用者の充実															
③															
④															
⑤															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標					
	来館者数		来館者数		人	目標	7000	7000	7000	7000					
						実績	4860	4551							
					人	目標									
						実績									
					回	目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	隣保館管理費
	直接事業費			平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考								
		国庫支出金		721 千円	578 千円	874 千円									
		県支出金		362 千円	288 千円	437 千円									
		地方債		千円	千円	千円									
		その他特定財源		千円	千円	千円									
		一般財源		304 千円	289 千円	0 千円									
	計(A)		1,387 千円	1,155 千円	1,311 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.100 人 628 千円	0.300 人 1,838 千円	0.300 人 1,813 千円									
		臨時・嘱託職種		隣保館館長		隣保館館長		隣保館館長							
臨時・嘱託工数・経費		0.200 人 360 千円	0.200 人 360 千円	0.200 人 360 千円											
全体事業費(A+B)		2,375 千円		3,353 千円		3,484 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価			
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	市場町に1カ所の隣保館であり、地域に密着した施設として必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	近隣に類似した施設があります。しかし、隣保事業を行う施設として有効性があります。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input checked="" type="radio"/>	する	<input type="radio"/>	しない		<input checked="" type="radio"/>	する	<input type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	目標値には達していないが、貸し館としての利用もあり、館まつりなど多くの来館者があり、概ね達成しています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している		<input checked="" type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	施設の老朽化は否めず、これからのコストは高くなると思います。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	3	3	3	A	4	3	3	3	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止	
当面の課題	開かれたコミュニティセンターとして、市民(地域住民)に有効な活用が望まれます。現在、講座等は夜に行われています。館の鍵を、講座生や講師に常時預けて開閉をしています。館の管理上管理方法が課題となります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	管理人の補充をしたいです。					施設の老朽化に伴い、日常点検を強化し、大規模改修に至らないよう、効率的な維持管理を行ってください。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成22年度実施事業対象

PLAN	No.	11	基本事務事業名	住宅新築資金等貸付事業	事務事業名	住宅新築資金等償還事務	公的関与	5	シート作成日	平成23年6月13日		
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	岡田 清	シート作成者名	七條 和子		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託	
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input checked="" type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等	
	総合計画	基本構想(政策)		該当なし		実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)				<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		住宅新築資金貸付借入者								
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	貸付金全員の償還							
	事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)										
		① 滞納徴収(催告書発送・電話催促・訪問徴収)										
② 消し込み(徴収原簿・償還台帳)												
③ 補助金申請(補助金申請事務)												
④ 実績報告書作成												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	最終目標		
	貸付事業償還額		住宅新築資金償還額(現年度)		円	目標	5,608,000	4,077,000	4,000,000			
						実績	3,552,141	3,249,125				
	貸付事業償還額		住宅新築資金償還額(過年度)		円	目標	3,250,000	3,319,000	3,500,000			
						実績	2,653,298	3,512,184				
						目標						
					実績							
DO	予算費目	会 計	住宅新築資金等貸付事業特別会計		款	1 貸付事業	項	1 償還事業	目	1 償還事務費		
	直接事業費			平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考					
		国庫支出金		0 千円	0 千円	0 千円						
		県支出金		1,521 千円	1,478 千円	825 千円						
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円						
		その他特定財源		8,858 千円	6,653 千円	4,674 千円						
		一般財源		711 千円	1,444 千円	453 千円						
	計(A)		11,090 千円	9,575 千円	5,952 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費		1.000 人	6,283 千円	0.900 人	5,513 千円	0.900 人	5,440 千円			
		臨時・嘱託職種										
		臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円			
全体事業費(A+B)		17,373 千円		15,088 千円		11,392 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	償還事務事業なので多いに必要です。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある	
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない	
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	本事業を実施している県下19市町で隣保館でこの業務を実施している館は有りません。年々隣保館事業や利用者が増加する中、新築資金業務と隣保館運営の両立は、尚一層困難です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input checked="" type="radio"/>	できない	<input type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる	
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	目標設定に達成しておりません。今後は債務者の納付意識欠如の改革と徴収強化が必要です。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている					
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input checked="" type="radio"/>	あまり上がっていない					
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している					
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		<input type="radio"/>	十分達成している					
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	システム導入によりコスト削減は見込めますが、隣保館業務も行っているため現在の人員等の状況では高い効率性は期待できません。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない		<input checked="" type="radio"/>	できる	<input type="radio"/>	できない	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない		<input checked="" type="radio"/>	ある	<input type="radio"/>	ない	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない	
ACTION	評価点	一次評価					二次評価				
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	3	4	2	A	4	4	2	2	B
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		
当面の課題	滞納者の返済意識が欠如しているため、償還に向けて意識の向上を図り収納率アップを目指します。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	滞納整理を考える上で手法の変更など、今後は法的措置に向けて専門職が必要です。隣保事業と新築資金事業の両立は難しく専従の職員が必要です。					訪問徴収等の強化を図ってください。					
委員会指摘事項											